

AWS 用 SMA 500v 仮想装置

10.2

導入ガイド

SONICWALL®

目次

概要	4
始める前に	5
サポート対象インスタンス タイプ	5
MySonicWall アカウントの作成	5
AWS 用 SMA 500v 仮想装置のインストール	7
AWS 用 SMA 500v 仮想装置の構成	12
AWS 用 SMA 500v の電源オンまたはオフ	12
ウェブ インターフェースへの接続	13
コマンド ライン インターフェースへの接続	14
コマンド ライン インターフェースの使用	15
再起動	16
SSL VPN サービスの再起動	17
ログアウト	17
TSR のフラッシュ メモリへの保存	17
EULA の表示	17
装置のウェブ インターフェースでの設定構成	17
装置のライセンスと登録	19
AWS 用 SMA 500v の登録	19
AWS 用 SMA 500v の登録解除	20
30 日間評価版の使用	22
展開に関する考慮事項	22
30 日間評価版仮想装置の登録	23
無料評価版ライセンスから製品版への変換	24
SonicWall のサポート	26
このドキュメントについて	27

はじめに

- 概要
- 始める前に
- AWS 用 SMA 500v 仮想装置のインストール

概要

この導入ガイドには、Amazon Web Service (AWS) クラウド ネットワーク上の SonicWall SMA 500v Amazon マシン イメージ (AMI) を展開するためのインストール手順と構成ガイドラインが含まれています。AWS 用 SMA 500v に含まれているソフトウェア装置は、AWS 環境用に事前インストールおよび事前構成されており、クラウド環境内で Secure Mobile Access AMI ソリューションを安全かつ簡単に開発できます。

SonicWall は、急激なクラウド化に対応し、SonicWall Secure Mobile Access 100 (SMA500v) により、プライベート クラウドからパブリック クラウドクラウドまでのセキュリティを幅広く網羅します。AWS 用 SMA 500v により、仮想化の規模効果が得られます。また、物理的な SMA 100 装置のセキュリティ メリット全般に加えて、システムのスケーラビリティと敏捷性、システム プロビジョニングの速さ、シンプルな管理とコスト削減といった仮想化による運用上と経済上のメリットも得られます。

始める前に

トピック:

- [サポート対象インスタンス タイプ \(5 ページ\)](#)
- [MySonicWall アカウントの作成 \(5 ページ\)](#)

サポート対象インスタンス タイプ

以下の AWS インスタンス タイプを推奨します。

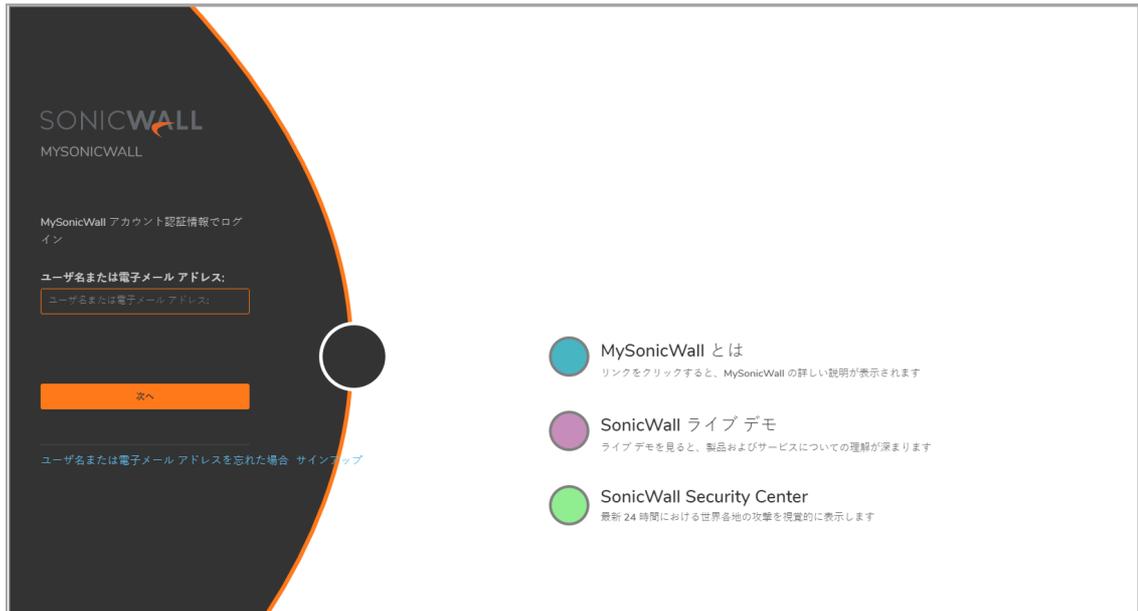
- t2.medium (vCPUs x 2、メモリ 4GiB)
- t2.large (vCPUs x 2、メモリ 8GiB)
- t2.xlarge (vCPUs x 8、メモリ 16GiB)
- t2.2xlarge (vCPUs x 8、メモリ 32GiB)

MySonicWall アカウントの作成

製品登録には MySonicWall アカウントが必要です。アカウントを取得済みの場合は、「[AWS 用 SMA 500v の登録 \(19 ページ\)](#)」セクションに進みます。

MySonicWall アカウントを作成するには、以下の手順に従います。

- 1 ブラウザで、<http://www.MySonicWall.com> に移動します。
- 2 ログイン画面で、青色の「Sign Up (登録)」リンクをクリックします。



3 電子メールおよびパスワードを含むアカウント情報を入力します。

① **メモ:** パスワードは 8 文字以上 30 文字以下である必要があります。

4 必要に応じて、二段階認証を有効にします。

5 二段階認証を有効にした場合は、次のいずれかの認証方式を選択します。

- 「電子メール (ワンタイム パスコード)」の場合は、MySonicWall アカウントにログインするたびに、ワンタイム パスコードが記載された電子メールが送信されます。
- 「Microsoft/Google Authentication App (Microsoft/Google 認証アプリ)」の場合は、提供されたコードをスキャンするために Microsoft または Google の認証アプリを使用します。コードをスキャンできない場合は、秘密コードを得るためにリンクをクリックします。

6 「続行」をクリックして「Company (会社名)」ページに進みます。

7 会社情報の入力を完了したら、「続行」をクリックします。

8 「Your Info (ご利用情報)」ページでは、セキュリティ リニューアル電子メールが必要かどうかを選択します。

9 新製品のベータ テストに関心があるかどうかを明記します。

10 「続行」をクリックして「Extras (追加)」ページに進みます。

11 契約更新に関する通知のために、連絡先を追加するかどうかを選択します。

12 連絡先を追加することを選択した場合は情報を入力し、「ADD CONTACT (連絡先を追加)」をクリックします。

13 「DONE (完了)」をクリックします。

14 電子メールにある認証コードを確認し、「Verification Code (認証コード)*」フィールドに入力します。コードを受信しなかった場合、リンクをクリックしてカスタマーサポートに連絡します。

15 「DONE (完了)」をクリックします。そうすると、ログイン画面に戻ります。これで、新規アカウントにより MySonicWall にログインできます。

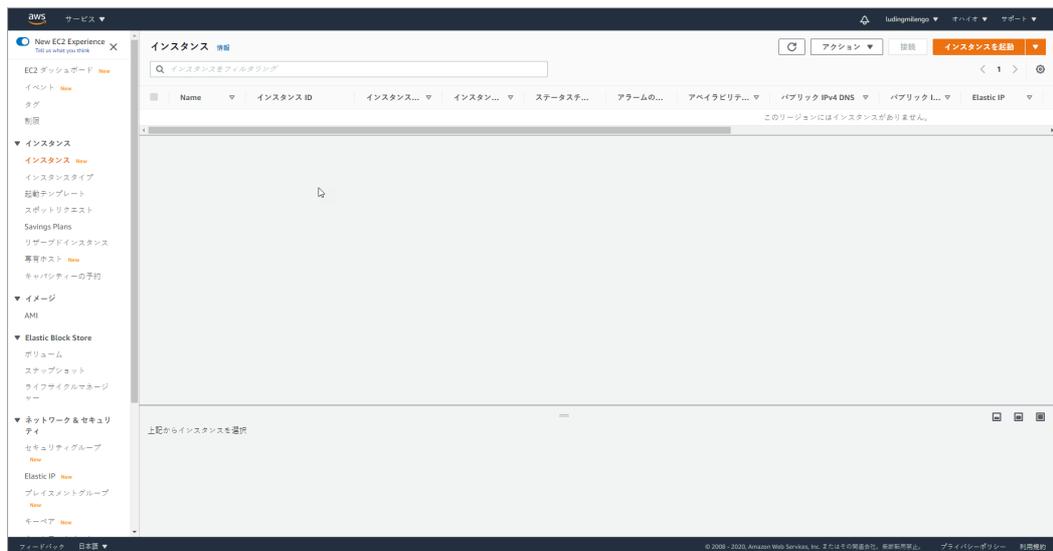
① **メモ:** MySonicWall の登録情報を売却したり、他社と共有することはありません。

AWS 用 SMA 500v 仮想装置のインストール

このセクションでは、ご使用の AWS 環境に AWS 用 SonicWall SMA 500v のイメージを展開する方法について説明します。

AWS 用 SMA 500v を AWS コンソールからインストールするには、以下の手順に従います。

- 1 <https://aws.amazon.com/jp> で、AWS の管理コンソールにログインします。
- 2 AWS 用 SMA 500v インスタンスを起動するには、
 - a 「サービス」ドロップダウンメニューから、「Compute (計算)」にある「EC2」を選択します。
 - b EC2 のダッシュボードにある「INSTANCES (インスタンス)」をクリックします。



- c 「Launch Instance (インスタンスを起動)」をクリックします。

- d 「Choose an Amazon Machine Image (AMI) (Amazon マシン イメージ (AMI) の選択)」 ページで、左側のペインにある「My AMIs (使用している AMI)」をクリックし、「Ownership (所有権)」にある「Shared with me (自分と共有)」を選択します。



- e AWS 用 SMA 500v のビルド (sw_500v_aws_10.2.0.0_tip_14sv_1221429d.2019.12.05-13.11.02 などのファイル) を選択し、「次へ」をクリックします。

3 インスタンスの設定を選択します。

- a 「Instance Type (インスタンス タイプ)」を選択し、「次へ」をクリックします。

上位のインスタンス タイプになるほど、性能が高くなります。最低でも「t2.medium」(vCPUs x 2、メモリ 4GiB) を選択する必要があります。



- b 「Configure Instance Details (インスタンス詳細の構成)」 ページで、以下のオプションを構成し、「次へ」をクリックします。

- ネットワーク
- サブネット

- 「Auto-assign Public IP (パブリック IP の自動割当)」を有効にする

ステップ 3: インスタンスの詳細の設定

要件に合わせてインスタンスを設定します。同じAMIからの複数インスタンス作成や、より低料金を実現するためのスポットインスタンスのリクエスト、インスタンスへのアクセス管理ロール割り当てなどを行うことができます。

インスタンス数 ① 1 Auto Scaling グループに作成する ④

購入のオプション ① スポットインスタンスのリクエスト

ネットワーク ① vpc-4558ec2e (デフォルト) ③ 新しいVPCの作成

サブネット ① 優先順位なし (アベイラビリティゾーンのデフォルト) ③ 新しいサブネットの作成

自動割り当てパブリックIP ① サブネット設定を使用 (有効)

配置グループ ① インスタンスをプレースメントグループに追加します。

キャパシティの予約 ① 閉く

ドメイン結合ディレクトリ ① ディレクトリなし ③ 新しいディレクトリの作成

IAM ロール ① なし ③ 新しいIAM ロールの作成

CPU オプション ① CPU オプションを指定

シャットダウン動作 ① 停止

停止 - 休止動作 ① 停止動作に休止動作を追加する

終了保護の有効化 ① 終了した終了を防止します

モニタリング ① CloudWatch 詳細モニタリングを有効化
追加料金が適用されます。

ナランシー ① 共有 - 共有ハードウェアインスタンスの要件
専用ナランシーには追加料金が適用されます。

キャンセル 戻る 確認と作成 次のステップ: ストレージの追加

c 「Add Storage (記憶装置の追加)」ページで必要に応じ、インスタンスのために記憶装置の新規ボリュームを追加できます。既定のディスク記憶装置の値は、32 GB に設定されています。「次へ」をクリックします。

d 「Add Tags (タグの追加)」ページで必要に応じ、タグを追加できます。「次へ」をクリックします。

e 「Configure security Group (セキュリティグループの構成)」ページで、インスタンスのトラフィックを制御するルールを追加し、「次へ」をクリックします。

セキュリティグループには少なくとも、ポート 22 と 443 を開放する必要があります。22 はコンソールによる SSH へのアクセス、443 はウェブと VPN アクセスのためです。

4 インスタンスの構成を確認し、「Launch (起動)」をクリックします。

ステップ 7: インスタンス作成の確認

インスタンスの作成に関する詳細を確認してください。各セクションの変更に戻ることができます。[作成] をクリックして、インスタンスにキーペアを割り当て、作成処理を完了します。

AMI の構築

AMI の詳細

sw_500v_aws_10.2.0.2-20sv_1245864.2020.10.27-10.09.43 - ami-0f4adebe9de5f947c

ルートデバイスタイプ: ebs 仮想化タイプ: hvm

インスタンスタイプの構築

インスタンスタイプ	ECU	vCPU	メモリ (GiB)	インスタンスストレージ (GiB)	EBS 最適化利用	ネットワークパフォーマンス
t2.micro	-	1	1	EBS のみ	-	Low to Moderate

セキュリティグループの構築

セキュリティグループ名: launch-wizard-1

説明: launch-wizard-1 created 2020-10-27T15:02:57.885+06:00

タイプ ①	プロトコル ①	ポート範囲 ①	ソース ①	説明 ①
このセキュリティグループにはルールがありません				

インスタンスの詳細の構築

インスタンスの詳細

ストレージの構築

ストレージ

タグの構築

タグ

キャンセル 戻る 起動

- 5 続行する前に、新規のキー ペアを作成し、鍵ペア ファイルをダウンロードします。プライベート 鍵は、安全でアクセスしやすい場所に保存します。

i | 重要: インスタンスの起動後は、鍵ペアをダウンロードできません。

既存のキーペアを選択するか、新しいキーペアを作成します。 ×

キーペアは、AWS が保存するパブリックキーとユーザーが保存するプライベートキーファイルで構成されます。組み合わせて使用することで、インスタンスに安全に接続できます。Windows AMI の場合、プライベートキーファイルは、インスタンスへのログインに使用されるパスワードを取得するために必要です。Linux AMI の場合、プライベートキーファイルを使用してインスタンスに SSH で安全に接続できます。

注: 選択したキーペアは、このインスタンスに対して権限がある一連のキーに追加されます。「パブリック AMI から既存のキーペアを削除する」の詳細情報をご覧ください。

既存のキーペアの選択

キーペアの選択

選択したプライベートキーファイル (awsconsoleaccess.pem) へのアクセス権があり、このファイルなしではインスタンスにログインできないことを認識しています。

- 6 「インスタンスの作成」をクリックします。

SMA 500v インスタンスの起動後、ブラウザから装置にアクセスできるようになります。ブラウザ経由で SMA 500v にアクセスする方法については、「[ウェブ インターフェースへの接続](#)」を参照してください。

コンソールには、SSH コマンドでアクセスできます。ユーザには 2 種類あります。基本的な設定の表示や構成をするための「管理者」と、物理的ファームウェアにおける「ルート」ユーザと類似の働きをする、ファイル システムにログインするための「sonicwall」です。詳細については、「[コマンド ライン インターフェースへの接続](#)」を参照してください。

AWS 用 SMA 500v 仮想装置の使用

- AWS 用 SMA 500v 仮想装置の構成
- 装置のライセンスと登録
- 30 日間評価版の使用

AWS 用 SMA 500v 仮想装置の構成

このセクションでは、AWS 用 SMA 500v 仮想装置の電源をオンにする方法と、仮想ハードウェアの設定、ネットワークの設定などの基本構成を行う方法について説明します。

トピック:

- [AWS 用 SMA 500v の電源オンまたはオフ \(12 ページ\)](#)
- [ウェブ インターフェースへの接続 \(13 ページ\)](#)
- [コマンド ライン インターフェースへの接続 \(14 ページ\)](#)
- [コマンド ライン インターフェースの使用 \(15 ページ\)](#)

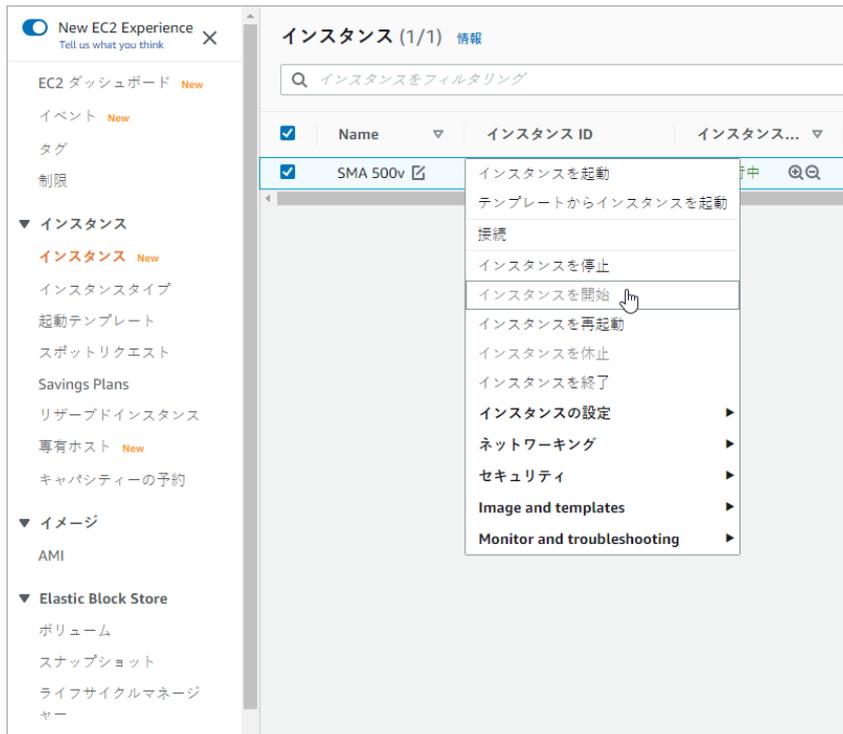
AWS 用 SMA 500v の電源オンまたはオフ

インスタンスを起動、停止、再起動、または終了するには、以下の手順に従います。

- 1 EC2 コンソールで、AWS の左側のペインにある「インスタンス」をクリックします。すべての Amazon マシン インスタンスと、それらの EC2 インスタンス ID が表示されます。

① | **メモ:** 「Instance ID (インスタンス ID)」は、管理者アカウントの既定パスワードです。

- 2 AWS 用 SMA 500v 仮想装置 AMI インスタンスで右クリックします。右クリック メニューの「Instance State (インスタンス状態)」をクリックし、以下のいずれかを選択します。
 - Start (起動)
 - Stop (停止)
 - Stop - Hibernate (停止 - 休止)
 - 再起動
 - Terminate (終了)



インスタンスを起動または停止する方法の詳細情報については、次の AWS ウェブサイトを参照してください。

https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/AWSEC2/latest/UserGuide/Stop_Start.html

ウェブ インターフェースへの接続

AWS 用 SMA 500v 仮想装置は、常に EC2 の DHCP アドレスによって割り当てられたプライベート IP アドレスを用いて自動的に開始します。EC2 は、インターネットからのアクセスを許可するために、パブリック IP アドレスも自動的に割り当てます。

- ① **メモ:** EC2 によって割り当てられたパブリック IP アドレスは、再起動時に変更できます。同じパブリック IP アドレスを保持するには、インスタンスに対して「*Elastic IP*」を構成します。Elastic IP アドレスの詳細情報については、次を参照してください。

https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/AWSEC2/latest/UserGuide/elastic-ip-addresses-eip.html

AWS 用 SMA 500v 仮想装置管理ウェブ インターフェースにアクセスするには、以下の手順に従います。

- 1 ブラウザを起動し、AWS 用 SMA 500v 仮想装置のパブリック IP に移動します。AWS 用 SMA 500v の装置にアクセスするために、既定のポート 443 を使用します。

- ① **メモ:** SMA 500v インスタンスのパブリック IP アドレスを見つけるには、AWS EC2 コンソールの「Instances (インスタンス)」ページで SMA 500v インスタンスをクリックします。

<https://<SMA 500v パブリック IP>/>

- 2 ウェブ インターフェースのログイン ページで既定の資格情報を入力し、「ログイン」をクリックします。

既定の資格情報は、次のとおりです。

- 既定のユーザ名 = **admin**
- 既定のパスワード = **password**

AWS 用 SMA 500v 仮想装置の管理インターフェースが表示されます。



3 これでは AWS 用 SMA 500v 仮想装置の登録、および管理と構成を開始できます。

構成に関する情報については、『AWS 用 SMA 500v 仮想装置管理ガイド』を参照してください。

コマンド ライン インターフェースへの接続

コマンド ライン インターフェース (CLI) は、特定のタスクを実行するためにコマンドを入力することで、AWS 用 SMA 500v 仮想装置と対話するためのテキストのみの機構です。CLI は SSH を介して起動できます。

SSH を介して SMA 500v に接続するには、以下の手順に従います。

- 1 AWS EC2 コンソールの「Instances (インスタンス)」ページで、SMA 500v インスタンスをクリックします。
- 2 SMA 500v 装置の「Public IP address (パブリック IP アドレス)」をコピーします。
- 3 SSH アプリケーションで、AWS プライベート鍵を使用し、次のコマンドを入力して認証します。

- `ssh -i AWSPrivateKey.key admin@<SMA 500v パブリック IP>`

例: `ssh -i Ohiokey.pem admin@13.64.78.65`

- 4 警告が表示された場合は、ログインに進むために「yes」を入力します。

```
The authenticity of host '40.78.97.223 (40.78.97.223)' can't be established.  
ECDSA key fingerprint is SHA256:wIWc15lqVyvtPxbv0HjRD70WDTOWXE0Vl9UJ1obsL9k.  
Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes
```

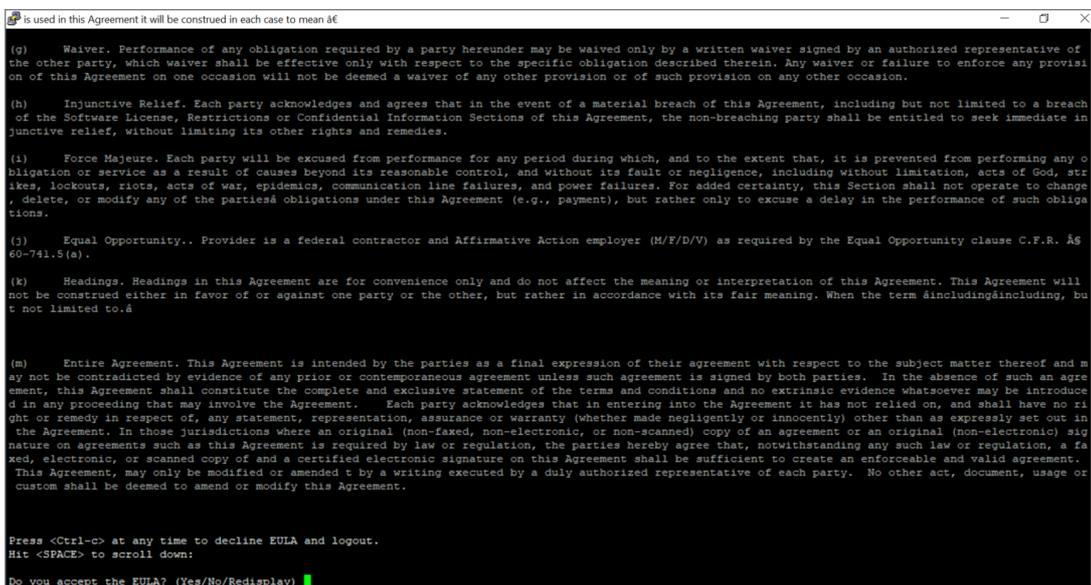
SMA 500v ソフトウェアの起動が完了すると、ログインプロンプトが表示されます。

- 5 装置で構成された **admin** アカウントの既定の管理者資格情報を使用してログインします。

- 既定のユーザ名 = **admin**
- 既定のパスワード = **password**

間違ったパスワードを入力すると、再度ログインプロンプトが表示されます。正しいパスワードを入力すると、CLI が起動します。

- 6 初回ログイン時に管理者は、「End User Product Agreement (EUPA - エンド ユーザ製品契約書)」を確認し、同意してから次に進む必要があります。<SPACE>キーを押して、下にスクロールします。



```
is used in this Agreement it will be construed in each case to mean &#x26  
(g) Waiver. Performance of any obligation required by a party hereunder may be waived only by a written waiver signed by an authorized representative of the other party, which waiver shall be effective only with respect to the specific obligation described therein. Any waiver or failure to enforce any provision of this Agreement on one occasion will not be deemed a waiver of any other provision or of such provision on any other occasion.  
(h) Injunctive Relief. Each party acknowledges and agrees that in the event of a material breach of this Agreement, including but not limited to a breach of the Software License, Restrictions or Confidential Information Sections of this Agreement, the non-breaching party shall be entitled to seek immediate injunctive relief, without limiting its other rights and remedies.  
(i) Force Majeure. Each party will be excused from performance for any period during which, and to the extent that, it is prevented from performing any obligation or service as a result of causes beyond its reasonable control, and without its fault or negligence, including without limitation, acts of God, strikes, lockouts, riots, acts of war, epidemics, communication line failures, and power failures. For added certainty, this Section shall not operate to change, delete, or modify any of the parties' obligations under this Agreement (e.g., payment), but rather only to excuse a delay in the performance of such obligations.  
(j) Equal Opportunity. Provider is a federal contractor and Affirmative Action employer (M/F/D/V) as required by the Equal Opportunity clause C.F.R. &#x26 60-741.5(a).  
(k) Headings. Headings in this Agreement are for convenience only and do not affect the meaning or interpretation of this Agreement. This Agreement will not be construed either in favor of or against one party or the other, but rather in accordance with its fair meaning. When the term &#x26including&#x26 is used, it shall not be limited to &#x26.  
(l) Entire Agreement. This Agreement is intended by the parties as a final expression of their agreement with respect to the subject matter thereof and may not be contradicted by evidence of any prior or contemporaneous agreement unless such agreement is signed by both parties. In the absence of such an agreement, this Agreement shall constitute the complete and exclusive statement of the terms and conditions and no extrinsic evidence whatsoever may be introduced in any proceeding that may involve the Agreement. Each party acknowledges that in entering into the Agreement it has not relied on, and shall have no right or remedy in respect of, any statement, representation, assurance or warranty (whether made negligently or innocently) other than as expressly set out in the Agreement. In those jurisdictions where an original (non-faxed, non-electronic, or non-scanned) copy of an agreement or an original (non-electronic) signature on agreements such as this Agreement is required by law or regulation, the parties hereby agree that, notwithstanding any such law or regulation, a faxed, electronic, or scanned copy of and a certified electronic signature on this Agreement shall be sufficient to create an enforceable and valid agreement. This Agreement, may only be modified or amended by a writing executed by a duly authorized representative of each party. No other act, document, usage or custom shall be deemed to amend or modify this Agreement.  
Press <Ctrl-c> at any time to decline EULA and logout.  
Hit <SPACE> to scroll down:  
Do you accept the EULA? (Yes/No/Redisplay) █
```

基本的なシステム情報とネットワーク設定情報に続き、メインメニューが表示されます。

「**コマンドラインインターフェースの使用**」に進みます。

コマンドラインインターフェースの使用

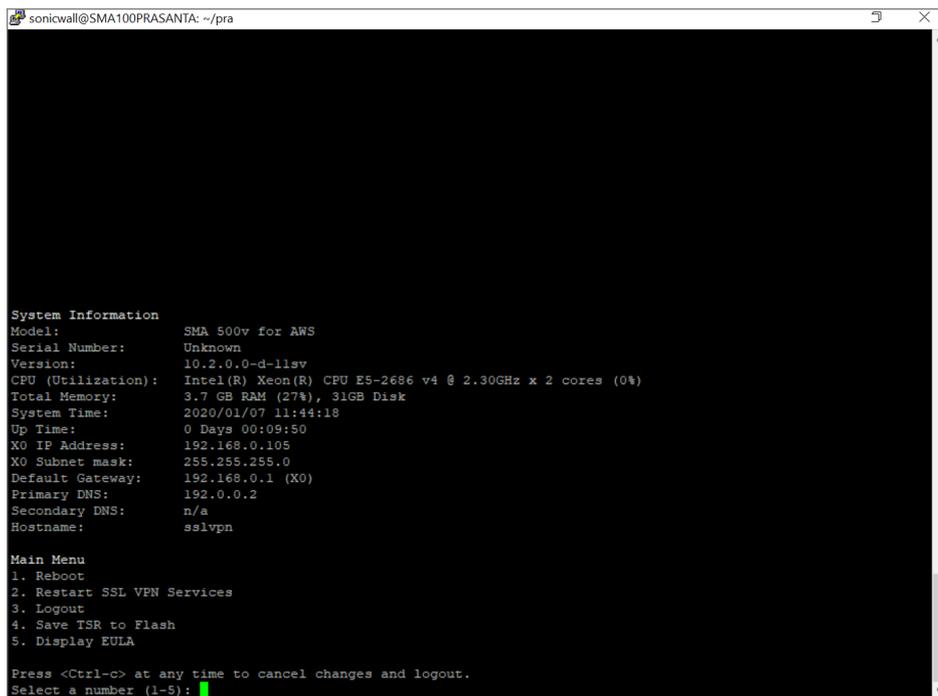
コマンドラインインターフェース (CLI) は、特定のタスクを実行するためにコマンドを入力することで、コンピュータオペレーティングシステムやソフトウェアと対話するためのテキストのみの機構です。基本ネットワークをコンソールから構成する必要がある AWS 用 SMA 500v 仮想装置の展開において、CLI は重要な役割を担います。

- ❶ **メモ:** CLI を介して構成できるインターフェースは X0 インターフェースのみです。現時点では、SonicWall AWS 用 SMA 500v 仮想装置で CLI を使用したその他のインターフェースの構成はサポートされていません。

トピック:

- [再起動 \(16 ページ\)](#)
- [SSL VPN サービスの再起動 \(17 ページ\)](#)
- [ログアウト \(17 ページ\)](#)
- [TSR のフラッシュ メモリへの保存 \(17 ページ\)](#)
- [EULA の表示 \(17 ページ\)](#)

次の画面は、コンソールにログインした後に表示されるメイン メニューを表しています。メニューには、基本的なシステム情報とネットワーク設定も表示されます。メイン メニューには6つのセクションがあります。



```
sonicwall@SMA100PRASANTA: ~/pra

System Information
Model: SMA 500v for AWS
Serial Number: Unknown
Version: 10.2.0.0-d-11sv
CPU (Utilization): Intel(R) Xeon(R) CPU E5-2686 v4 @ 2.30GHz x 2 cores (0%)
Total Memory: 3.7 GB RAM (27%), 31GB Disk
System Time: 2020/01/07 11:44:18
Up Time: 0 Days 00:09:50
X0 IP Address: 192.168.0.105
X0 Subnet mask: 255.255.255.0
Default Gateway: 192.168.0.1 (X0)
Primary DNS: 192.0.0.2
Secondary DNS: n/a
Hostname: sslvpn

Main Menu
1. Reboot
2. Restart SSL VPN Services
3. Logout
4. Save TSR to Flash
5. Display EULA

Press <Ctrl-C> at any time to cancel changes and logout.
Select a number (1-5):
```

再起動

このオプションを選択すると、確認のプロンプト表示後に再起動します。

```
Reboot
Are you sure you want to reboot (y/n)?
```

SSL VPN サービスの再起動

このオプションは、確認のプロンプト表示後にウェブ サーバおよび関連する SSL-VPN daemon サービスを再起動します。このコマンドは、Easy Access Ctrl restart コマンドを発行することと同じです。

```
Restart SSL-VPN Services
Are you sure you want to restart the SSL-VPN services (y/n)? y

Restarting SSL-VPN services...please wait.
Stopping SMM: [ OK ]
Stopping Firebase :[ OK ]
Stopping FTP Session:[ OK ]
Stopping HTTPD: [ OK ]
Cleaning Apache State: [ OK ]
Stopping Graphd :[ OK ]

Cleaning Temporary files.....
Starting SMM: [ OK ]
Starting firebase: [ OK ]
Starting httpd: [ OK ]
Starting ftpsession: [ OK ]
Starting graphd: [ OK ]

Restart completed...returning to main menu...
```

ログアウト

ログアウト オプションは CLI セッションを終了してログイン プロンプトに戻ります。

TSR のフラッシュ メモリへの保存

このオプションは、テクニカル サポート 報告書を AWS 用 SMA 500v 仮想装置のフラッシュ メモリに保存します。

EULA の表示

このオプションを選択すると、AWS 用 SMA 500v 仮想装置に関連するエンド ユーザ使用許諾契約書を表示します。

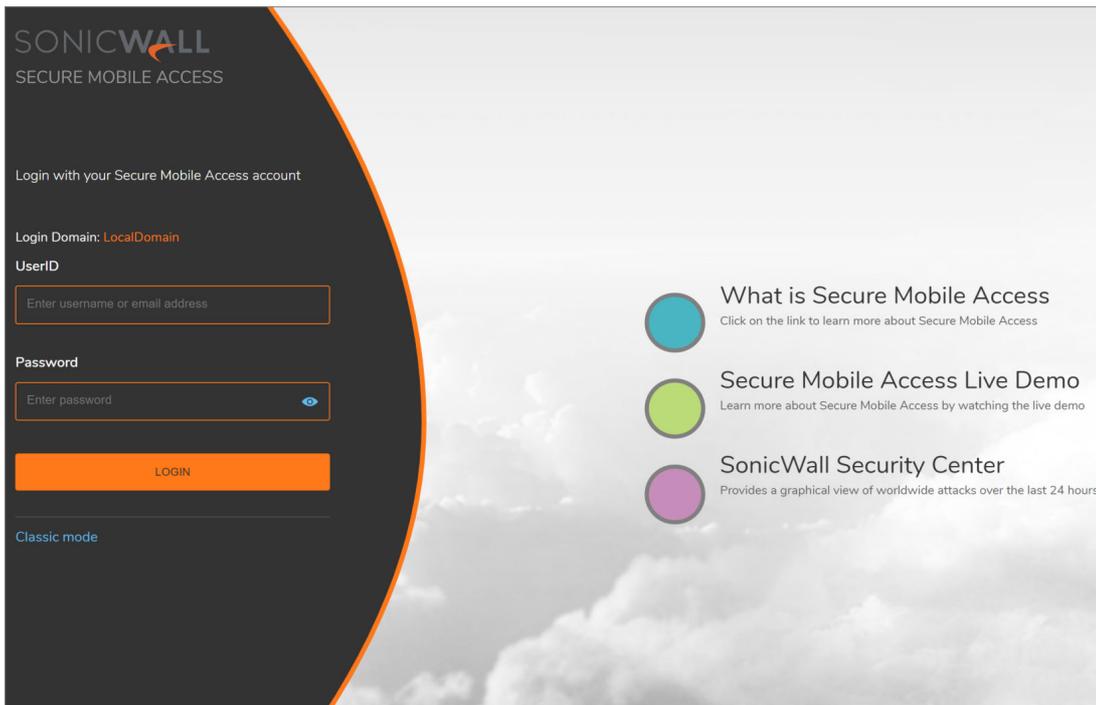
装置のウェブ インターフェースでの設定構成

このセクションでは、SMA ハードウェア装置の場合と同じように、その他の装置設定を構成する手順について説明します。

ホストの構成を完了するには、以下の手順に従います。

- 1 ブラウザを起動し、仮想装置の URL を入力します。

- 2 装置インターフェースのログイン ページで既定の資格情報を入力し、「ログイン」をクリックします。



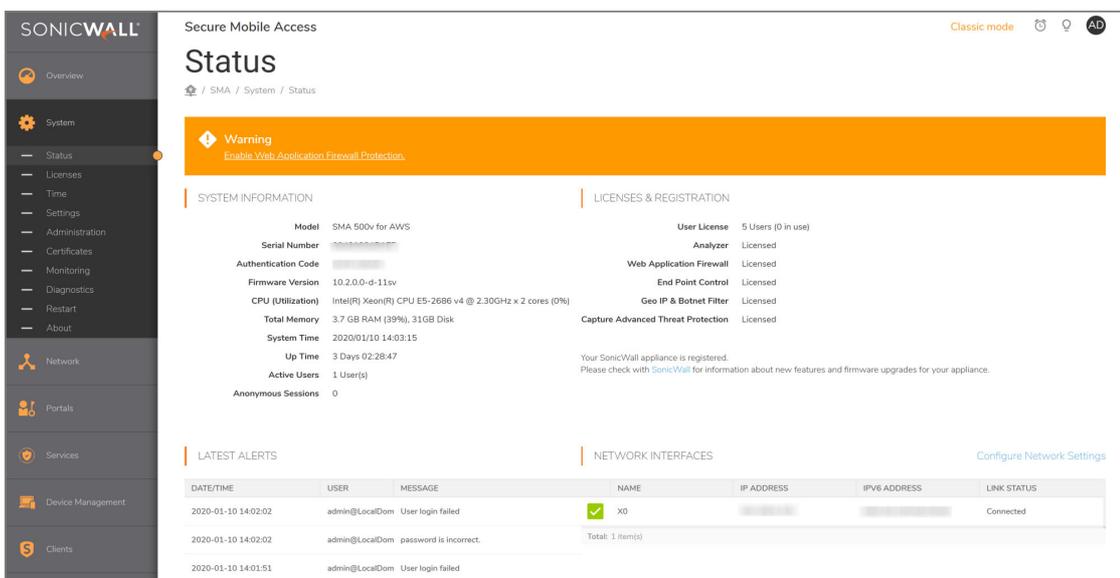
既定の資格情報は、次のとおりです。

ユーザ – *admin*

パスワード - *password*

ログインすると、SMA の管理インターフェースが表示されます。

- 3 AWS 用 SMA 500v のために「状況」画面で設定を構成します。



構成に関する包括的な情報については、『SMA 管理ガイド』を参照してください。このドキュメントおよびその他のドキュメントは、オンライン上の次のアドレスで検索できます。

<https://www.sonicwall.com/ja-jp/support/technical-documentation/>

装置のライセンスと登録

このセクションでは、AWS 用 SMA 500v 仮想装置のライセンスと登録について説明します。

AWS 用 SMA 500v を使用するには、まずライセンスを購入して登録する必要があります。登録は、管理インターフェースを使って実行します。登録が完了すると、AWS 用 SMA 500v のライセンスが付与され、使用できる状態になります。30 日間評価版仮想装置の登録手順については、「[30 日間評価版の使用](#)」を参照してください。

AWS 用 SMA 500v は、ユーザベースのライセンスを提供します。既定では、仮想装置には 5 ユーザライセンスが付属しています。拡張ライセンスを 5、10、そして 25 ユーザ単位で、最大同時 50 ユーザセッションまで追加できます。

ライセンスは SonicWall のライセンス マネージャ サービスにより制御され、MySonicWall アカウントを通して追加できます。未登録の装置は、そのモデルに対する既定のライセンス割り当てをサポートしますが、MySonicWall からの追加のライセンスを有効化するには装置を登録する必要があります。

ライセンス状況は、AWS 用 SMA 500v 仮想装置管理インターフェース内の「システム > 状況」ページの「ライセンスと登録」セクションに表示されます。

SonicWall の使用中は AWS 用 SMA 500v 仮想装置ライセンス マネージャとの通信が必要で、通信にはインターネット アクセスが必要です。

ユーザが仮想オフィス ポータルへのログインを試み、利用可能なユーザライセンスがなかった場合は、ログイン ページに「ユーザライセンスが不足しています。管理者にお問い合わせください。」というエラー メッセージが表示されます。すべてのユーザライセンスが使用中の状態、ユーザが NetExtender クライアントを起動した場合も同様のエラーが表示されます。これらのログイン試行は同様のメッセージとともにログ エントリに記録され、「[ログ > 表示](#)」ページに表示されます。このエラーが頻繁に発生する場合は、ユーザライセンスを追加します。リモート アクセスのニーズが一時的に高くなる場合は、仮想装置でサポートするリモート ユーザ数を一時的に増やす、臨時追加ライセンスを購入できます。詳細については、『[SMA 管理ガイド](#)』を参照してください。

トピック:

- [AWS 用 SMA 500v の登録 \(19 ページ\)](#)
- [AWS 用 SMA 500v の登録解除 \(20 ページ\)](#)
- [AWS 用 SMA 500v の登録解除 \(20 ページ\)](#)

AWS 用 SMA 500v の登録

AWS 用 SMA 500v 仮想装置をインストールしてネットワーク設定を構成した後に、管理コンソールにログインして装置を MySonicWall アカウントに登録します。SonicWall AWS 用 SMA 500v 仮想装置の登録は、他の SonicWall ハードウェア装置と同様の手順を踏みます。

❗ **メモ:** 登録が完了していない場合、システムの機能は極端に制限されます。

AWS 用 SMA 500v 仮想装置仮想マシンを登録するには、以下の手順に従います。

- 1 AWS 用 SMA 500v 仮想マシンにログインします。
AWS 用 SMA 500v 仮想マシンのパブリック IP は、「AWS Management Console (AWS 管理コンソール)」の「Instances (インスタンス)」ページで利用できます。
- 2 「システム > ライセンス」ページに移動します。
- 3 「登録」をクリックします。これにより、MySonicWall ログインに移動します。
- 4 MySonicWall.com アカウントに使う「ユーザ名」または「電子メールアドレス」と「パスワード」の各フィールドに適切な値を入力してから、「送信」をクリックします。
- 5 「License Management (ライセンス管理)」ページで、新しい装置の「Serial Number (シリアル番号)」または「Activation Key (有効化鍵)」を入力します。新しい装置の「認証コード」を入力します。

License Management

Enter your 12 character Software Serial Number and Authentication Code

Serial Number:

Authentication Code: - [What is this?](#)

Friendly Name:

- 6 「ニックネーム」を入力します。
- 7 「送信」をクリックして登録手順を完了します。
- 8 これで AWS 用 SMA 500v の登録が完了しました。「次へ」をクリックして「License Management (ライセンス管理)」画面を開くか、装置のその他の設定構成を続けます。

AWS 用 SMA 500v の登録解除

SMA インターフェースから直接 AWS 用 SMA 500v を登録解除できます。登録の解除により、仮想装置を未登録の状態にし、仮想装置と MySonicWall にあるその仮想装置のシリアル番号との紐付けを削除します。この時点で、同じまたは別の AWS 用 SMA 500v インスタンスを登録するためにそのシリアル番号を使用できるようになります。AWS 用 SMA 500v インスタンスは、シリアル番号ごとに 1 つのみ許可されます。

- ① **メモ:** オンラインで登録された AWS 用 SMA 500v のみを登録解除できます。AWS 用 SMA 500v がオフラインの方法を用いて登録された場合、登録解除はサポートされません。

AWS 用 SMA 500v を登録解除するには、以下の手順に従います。

- 1 AWS 用 SMA 500v 仮想装置の SMA 管理インターフェースにログインします。
- 2 「システム > 設定」ページに移動します。

- 3 AWS 用 SMA 500v を登録解除する前に、現在の構成設定のコピーをエクスポートするために、「設定管理」の「エクスポート」をクリックします。これにより、別の AWS 用 SMA 500v インスタンスに設定をインポートできるようになります。

△ **注意:** AWS 用 SMA 500v を登録解除する前に、構成設定をエクスポートしていることを確認してください。登録解除した後にそれらを復元することはできません。

- 4 「システム > ライセンス」に移動します。
- 5 「セキュリティ サービスのオンライン管理」で「サービスの購読、アップグレード、及び更新」をクリックし、MySonicWall アカウントにログインします。
- 6 「製品管理 > 製品」に移動し、登録解除する AWS 用 SMA 500v を選択します。行の右端にある「Delete Product (製品の削除)」をクリックします。理由を入力するためのダイアログボックスが表示されます。
- 7 「Confirm (確認)」をクリックします。
- 8 登録解除が成功すると、AWS 用 SMA 500v は未登録の状態に戻ります。

30 日間評価版の使用

AWS 用 SMA 500v 仮想装置の 30 日間評価版が提供されています。30 日間評価版装置のインストール、登録、および機能は、後の「[展開に関する考慮事項](#)」に記載されている相違点を除き、製品版の AWS 用 SMA 500v と同じです。評価版の有効期限が近づくと、SonicWall ライセンス マネージャからお知らせの電子メールが届きます。

製品版にアップグレードするには、以下の手順に従います。

- AWS 用 SMA 500v の製品版を購入します。
- 30 日間評価版から設定内容をエクスポートします。
- AWS 用 SMA 500v の製品版をインストールし、登録します。
- 設定内容をインポートします。

30 日間評価版を登録するには、その前に AWS 用 SMA 500v ソフトウェアをインストールする必要があります。ソフトウェアの入手方法の詳細については、「[AWS 用 SMA 500v 仮想装置のインストール](#)」を参照してください。

トピック:

- [展開に関する考慮事項 \(22 ページ\)](#)
- [30 日間評価版仮想装置の登録 \(23 ページ\)](#)
- [無料評価版ライセンスから製品版への変換 \(24 ページ\)](#)

展開に関する考慮事項

30 日間評価版の展開に関する考慮事項は以下のとおりです。

- AWS 用 SMA 500v は 30 日後に無効になります。
- 装置に同時にログインできる最大ユーザ数は 2 人です。
- 登録時に、「ウェブ アプリケーション ファイアウォール」の評価版が有効化されます。
- 有償のアドオン ライセンスやサービスは追加できません。
- 評価期間全体を通して SonicWall ライセンス マネージャとの通信が必要です。
- AWS 用 SMA 500v の製品版にアップグレードする前に、装置の構成設定内容のコピーを保存しておくことをお勧めします。

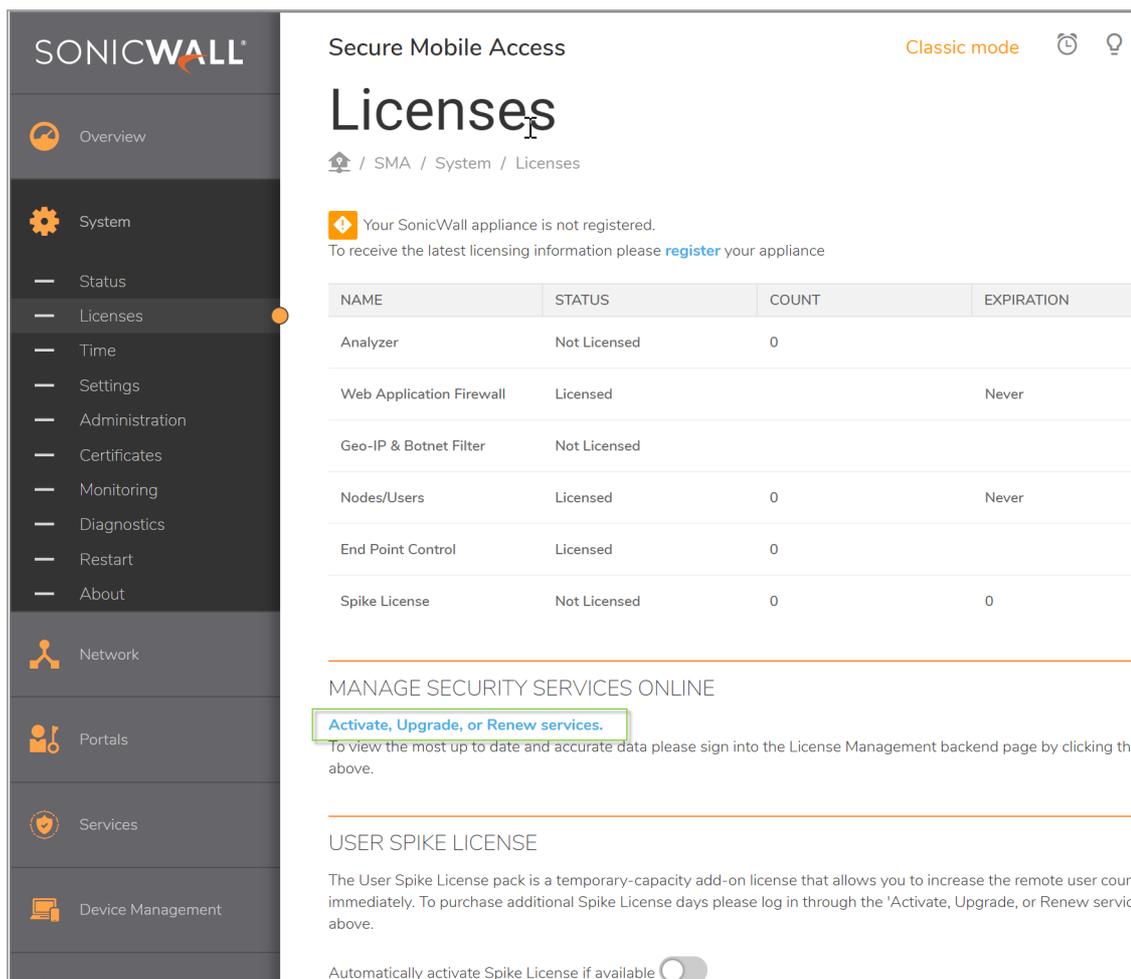
30 日間評価版仮想装置の登録

このセクションでは、SonicWall 30 日間評価版仮想装置の登録について説明します。

① **メモ:** 登録手順を開始する前に、SonicWall の販売代理店に連絡し、シリアル番号と認証コードを入手してください。

30 日間評価版を登録するには、以下の手順に従います。

- 1 AWS 用 SMA 500v にログインします。
- 2 「システム > ライセンス」ページに移動します。



SONICWALL

Secure Mobile Access Classic mode

Licenses

SMA / System / Licenses

Your SonicWall appliance is not registered.
To receive the latest licensing information please [register](#) your appliance

NAME	STATUS	COUNT	EXPIRATION
Analyzer	Not Licensed	0	
Web Application Firewall	Licensed		Never
Geo-IP & Botnet Filter	Not Licensed		
Nodes/Users	Licensed	0	Never
End Point Control	Licensed	0	
Spike License	Not Licensed	0	0

MANAGE SECURITY SERVICES ONLINE

[Activate, Upgrade, or Renew services.](#)

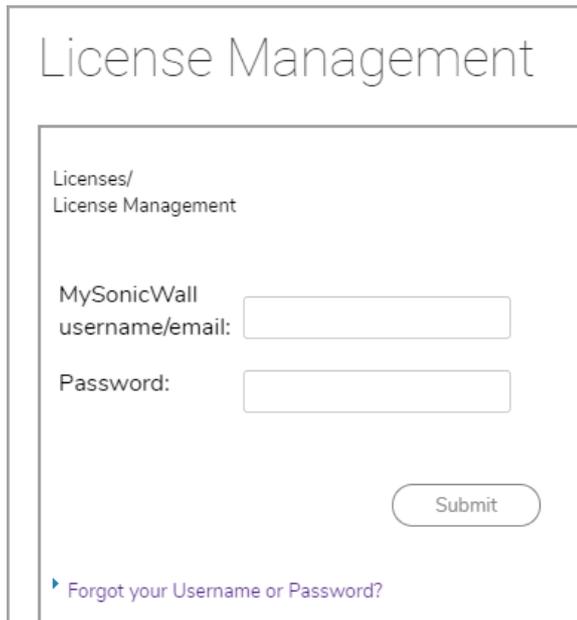
To view the most up to date and accurate data please sign into the License Management backend page by clicking the above.

USER SPIKE LICENSE

The User Spike License pack is a temporary-capacity add-on license that allows you to increase the remote user count immediately. To purchase additional Spike License days please log in through the 'Activate, Upgrade, or Renew service' above.

Automatically activate Spike License if available

- ログイン ページを表示するために、「サービスの購読、アップグレード、及び更新」リンクをクリックします。



- MySonicWall のアカウント名とパスワードを入力し、「送信」をクリックします。
- 「シリアル番号」、「認証コード」、「ニックネーム」を入力します。
- 「ログイン」をクリックします。
- 登録を確認するページが表示されたら、「続行」をクリックします。

無料評価版ライセンスから製品版への変換

30 日無料評価版としてインストールされた AWS 用 SMA 500v インスタンスは、ライセンスされた製品版の AWS 用 SMA 500v インスタンスに簡単に変更することができます。

無料評価版を製品版に変換するには、以下の手順に従います。

- AWS 用 SMA 500v のライセンスを販売代理店で購入します。新しいシリアル番号と認証コードが記述された注文確認の電子メールが送信されます。
- 無料評価版インスタンスの SMA にログインします。
- 「システム > ライセンス」ページに移動します。
- 「セキュリティ サービスのオンライン管理」で「サービスの購読、アップグレード、及び更新」をクリックし、MySonicWall アカウントにログインします。
- 「My Products (使用している製品)」ページに移動し、登録を解除する AWS 用 SMA 500v の無料インスタンスを選択します。「Deregister (登録解除)」をクリックします。
- 確認のダイアログで、「OK」をクリックします。AWS 用 SMA 500v が未登録の状態に戻ります。
- MySonicWall で、新しいインスタンスの「登録」をクリックします。
- AWS 用 SMA 500v インスタンスの購入後に受け取った「シリアル番号」と「認証コード」を入力します。これで AWS 用 SMA 500v が登録されました。

サポート

- SonicWall のサポート

SonicWall のサポート

有効なメンテナンス契約が付属する SonicWall 製品をご購入になったお客様や、トライアルバージョンをお持ちのお客様は、テクニカルサポートを利用できます。

サポート ポータルには、問題を自主的にすばやく解決するために使用できるセルフヘルプ ツールがあり、24 時間 365 日ご利用いただけます。サポート ポータルにアクセスするには、<https://www.SonicWall.com/ja-jp/support> に移動します。

サポート ポータルでは、次のことを実行できます。

- ナレッジベースの記事や技術文書を閲覧する。
- ビデオ チュートリアルを視聴する。
- MySonicWall にアクセスする。
- SonicWall のプロフェッショナル サービスに関して情報を得る。
- SonicWall サポート サービスおよび保証に関する情報を確認する。
- トレーニングや認定プログラムに登録する。
- テクニカル サポートやカスタマー サービスを要請する。

SonicWall サポートへの連絡方法は、<https://www.SonicWall.com/ja-jp/support/contact-support> をご覧ください。

このドキュメントについて

凡例



警告: 物的損害、けが、または死亡に至る可能性があることを示しています。



注意: 手順に従わないとハードウェアの破損やデータの消失が生じる恐れがあることを示しています。



重要、メモ、ヒント、モバイル、またはビデオ: 補足情報があることを示しています。

AWS 用 SMA 500v 導入ガイド
更新日 - 2020 年 10 月
ソフトウェアバージョン - 10.2
232-005423-00 Rev A

Copyright © 2020 SonicWall Inc. All rights reserved.

SonicWall は、SonicWall Inc. および/またはその関連会社の米国および/またはその他の国における商標または登録商標です。その他の商標および登録商標は、該当する各社の所有物です。

本文書の情報は、SonicWall Inc. およびその関連会社の製品に関連して提供されたものです。明示的、黙示的、または禁反言などを問わず、本書または SonicWall 製品の販売に関連して、いかなる知的所有権のライセンスも供与されません。本製品のライセンス契約で定義される契約条件で明示的に規定される場合を除き、SonicWall および/またはその関連会社は一切の責任を負わず、商品性、特定目的への適合性、あるいは権利を侵害しないことの暗示的な保証を含む(ただしこれに限定されない)、製品に関する明示的、暗示的、または法定的な責任を放棄します。SonicWall および/またはその関連会社は、本書の使用または使用できないことから生じる、直接的、間接的、結果的、懲罰的、特殊的、または付随的な損害(利益の損失、事業の中断、または情報の損失を含むが、これに限定されない)について、SonicWall および/またはその関連会社が事前に以下の損害の可能性を認識していたとしても、いかなる場合においても、一切の責任を負わないものとします。SonicWall および/またはその関連会社は、本文書の内容の正確性または完全性に関していかなる表明または保証も行いません。また、事前の通知なく、いつでも仕様および製品説明を変更する権利を留保するものとします。SonicWall Inc. および/またはその関連会社は、本文書に記載されている情報を更新する義務を負わないものとします。

詳細については、<https://www.SonicWall.com/ja-jp/legal> を参照してください。

エンド ユーザ製品契約

SonicWall エンド ユーザ製品利用規を参照する場合は、以下に移動してください。<https://www.SonicWall.com/ja-jp/legal> お客様の地域に適用される EUPA を表示するには、地理的位置に応じて言語を選択してください。

オープン ソース コード

SonicWall では、該当する場合は、GPL、LGPL、AGPL のような制限付きライセンスによるオープン ソース コードについて、コンピュータで読み取り可能なコピーをライセンス要件に従って提供できます。コンピュータで読み取り可能なコピーを入手するには、「SonicWall Inc.」を受取人とする 25.00 米ドルの支払保証小切手または郵便為替と共に、書面によるリクエストを以下の宛先までご送付ください。

General Public License Source Code Request
SonicWall Inc. Attn: Jennifer Anderson
1033 McCarthy Blvd
Milpitas, CA 95035